

原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて!

4・27『知花昌一 講演会』

4・28沖縄デーの歴史と意味

～オスプレイ配備を許さない～

とき

2013

4月27日(土)

15:30開場

16:00開演

●「第一部」知花さんの講演の後、「第二部」との間に休憩があります。軽食とお飲み物をご用意いたします(実費)。

20:00終演予定

ところ

クレオ大阪北

〒533-0023

大阪市東淀川区東淡路1-4-21

電話 06-6320-6300

交通アクセス

阪急「淡路」下車、徒歩10分

●駅から会場まで道のりが解りにくいので、十分に時間的余裕をもってお越し下さい。



歌と一人コント



オオタスセリ

司会&歌謡漫談



パギヤん

特別報告



水野直樹(京大人文研教授)

「8・15から4・28へ

～日本の戦後体制を問う～」



下地真樹

(阪南大学准教授)

「震災がれき焼却と関西大弾圧

～中から見たケイサツ～」

アピール



高橋正人(農家)

「飯館村から

一言申し上げます」

「反弾圧救援会」その他、様々な団体と個人から――

フクシマと結ぶ 音の力いのちの言葉 (Vol.3)

■入場料は徴収いたしません。事前に「参加協力券(¥1,000)」をお求め下さい。(申込方法は裏面をご覧ください。)

■主催: 「4・27」実行委員会 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 8-18 酒井ビル I 203号室

コラボ玉造[TAMAZO] 内 T/F 06-6763-0211



よなら原発、被曝はいやだ！ ファシズムまっぴら、弾圧やめろ

…原発と基地のない社会を！

弾圧をはね返そう！人権蹂躪は許さない

昨年2月、古河潤一への逮捕・勾留・起訴で始まった「脱原発・再稼働反対・震災がれき焼却阻止」運動に対する弾圧は、9月以降11人の逮捕へと広がり、現在(2月末)も5人の仲間が大阪拘置所などで勾留されたままです。それどころか、「ザイト会」(名称表記するのもおぞましい…)が従軍慰安婦問題に関連して「被害届」を提出し、「暴虐専門機関」(自称共に認めて憚らない大阪府警公安三課が性暴力もなく6ヶ所の家宅捜査を行うなど、刑事弾圧はまるどころか強まる傾向にあります。その背景には、判所・司法権力の警察追従と人権無視の姿勢あらわに存在しています。

ファシスト橋下&石原を頂く『維新の会』の台頭や自民党安倍権の再登場で、この国の「平和と人権」は戦後最大の危機に立されていると言っても過言ではありません。東日本大震災・福島原発事故から2周年、安倍「ゾンビ内閣」自民党政権の原発再稼働・増設策動を許すことは、人倫に反します。独裁者・橋下を「革命者」として奉ることは己が愚民であることの証左であり、の上なく恥ずかしいことです。無策・無為・無能な日本政府と各自治体の、特に関西とオオサカでの「住民無視、被災者・弱者を捨て、人権蹂躪」は、人としてこれ以上到底我慢がなりません。史上最悪の状況を座視することは、先祖と子孫、そして、世界地球に対する大罪ではないでしょうか？

実際に弾圧を経験された下地真樹さん(モジモジ先生)から、の間起きた様々な事象とその分析を報告していただき、多くの知と教訓を得たいと思います。

4・28(ヨンニッパ)を知っていますか

1952年4月28日、日本はアメリカと「講和条約」「安保条約」を結び、政治的に「独立」しました。GHQの占領政策が終了する時に沖縄は日本の領土から排除されて、「銃剣とブルドーザー」で取られた沖縄の基地は「合法的」に存続する根拠が与えられます。また、それまで「日本人であること」を強制されていた在



「焼き捨てられた日の丸」(新泉社 1988年)より

日朝鮮人・台湾人の国籍が一斉に剥奪され、その基本的人権は「合法的」に蹂躪されたまま現在にまで至っています。「戦後民主主義」にはカラクリが存在しました。日本人が「戦後の日本国民」へと統合・包摂されていく過程で、いったい何が起きたのでしょうか？—それを知る人々は、残念ながら多くありません。

元・読谷村議、現・真宗大谷派僧侶である知花昌一さんに、長い長い沖縄の闘いと「オスプレイ阻止」の現況をお話いただき、4・28(ヨンニッパ)の歴史を共有したいと思います。

そして、水野直樹さんからは、私たちの「常識」を覆す報告がなされます。原発安全神話が崩れたように、「日本の戦後体制」に纏わる諸々のウソも白日の下に晒されるべきなのです。原発も基地も断固拒否するためには、このクニの真実を知る必要があるでしょう。「現在」に繋がる生きた歴史を、今こそ学ばねばなりません。私も、あなたも…。

沖縄-関西-三里塚-福島を結ぶ「協働」を

知花さんは長く「三里塚」の闘いにも連帯してこられました。「国策」の名の下に民衆の生活を踏みにじる国家と半世紀近くも対峙し続ける三里塚の闘い…私たちはその経験と精神を再確認しつつ引き継ぎながら、反基地・脱原発の運動をより深め、広めたいと思います。

多くの方々の力強いご協力のもと、昨年は『5・25鎌田慧講演会』『12・15佐高信講演会』を成功裏に終えることができました。引き続き、「会」を一緒に造り上げて下さる方々を求めます。皆さんとの「協働」を心から求め、お願い申し上げる次第です。

今回は、福島県飯館村で農業と酪農を営んでおられた高橋正人さん(現在、福島市内の仮設住宅に避難)をお招きします。悔しさと辛さの最中から発せられる快活で磊落な高橋さんのお話しから、微かにでも未来への希望を確かめ合えれば幸いです。

闘いつつ学び、学びつつ闘い、楽しみながら闘い、より一層「学びと闘い」を楽しみましょう!! あなたのお越しを、心よりお待ちしております。
【実行委員会一同】

4・27」実行委員会では、賛同団体、賛同人(個人)を広く募っています。日のパンフレットに掲載いたしますので、趣旨に賛同される方は下記①と同じ方法でご連絡下さい。

①下記のいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号と、必ず枚数をお知らせ下さい。
[振り込み用紙]同封でお送りします。

電話 080-3119-7074 (Soft Bank)

Fax 050-1200-9601 (BB Phone)

メール tamazo@fanto.org

「コラボ玉造」まで 葉書か封書

②郵便振替口座に「4・27参加協力券 ○枚希望」とお書きになってご送金下さい。一枚につき、¥1,000です。入金が確認され次第、ご指定の住所・氏名まで郵送いたします。

【口座番号】00940-5-312873

【加入者名】企画・出版 黄土(ファント)

※事務処理の関係上、お振り込みの締切は4月19日とさせていただきます。それ以降は、電話・ファックス・メールでお申し込み下さい。